

広域連携委員会事業計画

委員長	水澤	純
副委員長	岩崎	敏久
副委員長	中田	大輔
幹事	梅川	智博
幹事	庄山	武志

【基本方針】

北陸新幹線開業よりまもなく一年が経過します。先人たちの想いがようやく叶いここ上越には多様な交通インフラが整いました。しかし、観光の面においては大きな変化が感じられないのが現状です。近隣には観光に注力している自治体が多くあり、そのほとんどが観光資源を有効に使って誘客を図っています。今こそ他地域との広域的な連携により互いの強みを活かし誘客を促すことで上越の更なる発展に寄与することが必要だと考えます。

当委員会では、新たな交通インフラが整った今、様々な地域からの観光客を増やすことを目標にして活動してまいります。はじめに北陸新幹線開業一周年をよい機会と捉え、上越妙高駅の駅名にもあるように上越市と妙高市の連携は必要不可欠と考え、インバウンドを得意とする妙高と連携した形の事業を行います。我々の考える地域の魅力を発信し、また、上越や妙高に何を求めて訪れるのか、観光客の生の声を聞くことにより地域の魅力を再発見する機会にします。次に、毎年恒例となるオクトーバーフェストでは交通の利便性を最大限に活かした手法を取り入れ、また連携各所の地域ブースを設置して頂くことで一層の広域連携により誘客促進に取り組み、過去最大の集客を目指します。この機会には観光客が求める上越の魅力をさらに磨くことにも注力します。最後に、1年間の広域連携活動を通じて学び得た成果をもとに、上越の魅力を広く世界に発信し、観光客の増加を目標とした発信事業を行います。併せて、R I N X - 4 や第6エリア交流会の機会を有効活用し、既存の関係性をより強固なものとし、広域連携の必要性を再認識してまいります。

広域連携は互いの魅力を発信し合い、足りないものを補い合うということです。そんな風通しのよい地域関係の構築こそが国内外からの一層の誘客を図り広域連携を通して得た知識と経験を活かすことにより自立した地域への発展へ繋がっていくことと確信します。

【委員会職務分掌】

1. 会員拡大への協力
2. 妙高との連携事業の実施と報告

3. 上越オクトーバーフェスト2016の実施と報告
4. 観光客増加を見据えた発信事業の実施と報告
5. R I N X－4交流事業の開催
6. 第6エリア交流会の開催